

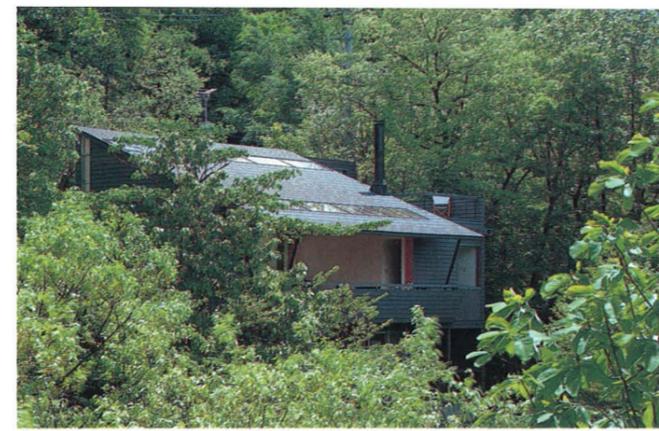
南軽井沢の家

長野県北佐久郡軽井沢町

設計 矢板久明・上野武
施工 丸山工務店



配置 縮尺1/1,500



谷側となる北側全景、屋根はフッ素樹脂塗装鋼板一文字葺き。

南側全景 敷地は、右手の東側と北側に向けて急激に下っている。左手のブリッジを渡り屋上階へアプローチする。外壁はペイマツ南京下見板張りステンプルーフ塗り。





アプローチのブリッジを渡ると屋上のテラスに出る。



玄関を入りトップライトから光が射し込む階段に向かう。

右頁 居間より階段方向を見る。道路側全景の右手に見えた開口が左手上部のもの。

敷地は、旧軽井沢から南へ9 kmほど入った小さな山の上にある北向きのかなり急な斜面である。眼前には浅間山を中心に雄大な景色が広がっている。数十年前よりここで余暇を過ごし、こよなくこの景色を愛するオーナー夫婦は、春の芽吹きから紅葉まで、多くの友人と共に退職後の日々を心ゆくまで味わうために、老朽化した家を取り払い、新しい家をもつことを望んでいた。

幸いなことに、ここの特徴ある敷地条件からこの家の主要な要素は、自ずと導き出されていった。斜面に沿った傾斜屋根、これを支え、道路からプライバシーを守る比較的閉じた壁面、戸外で自然を楽しむためのプラットフォーム、等である。そして、北へ向いた空間へどのように採光するか検討を進めるうちに、光の下に空間を浮かび上がらせ、そこに心を宿す部屋をつくり出すことが最大のテーマとなっていた。

外壁は木々の梢に合わせたチャコールグレーの南京下見である。景色を隠すように立ち上がる道路側の壁には、光に満ちた内部空間を垣間見せる特徴ある窓と、入口のみが穿たれている。そこに渡されたブリッジを通り壁をくぐると、はじめてこの景色と出会うことになる。ここは屋上にあるテラスであり傾斜地では得難い小さな庭である。戸外の応接間として、また、大空の下でのパーティーや日光浴に活用されている。

このテラスから屋根の下へ潜り込むようにして入口がある。道路側の大きな壁面と、屋根を支える特徴ある壁梁によってつくられたこの空間は、トップライトからの光に溢れ、訪れる人びとを歓待している。そして、階下の居間と同じ空間の中にありながら、ひとつの独立した部屋として、この家の骨格をつくり上げている。ここの階段を下りて居間へ至ると、浅間山を中心に連なる山々は、軒とテラスで横長に切り取られ、屋上での光景とは違った表情を見せてくれる。

2階には、夫婦が日常の生活をするために必要な諸室が配置されている。傾斜屋根の下の空間は、交差する壁梁と切り欠かれた壁により単純に分割されている。東側は木々の間から射し込む朝日の下で朝食を取るために相応しい食堂となり、その奥はライトウェルの中の明るい台所である。

トップライトからの光は階段下に心地よい日だまりをつくり出し、間接光として居間を明るく照らしている。さらに、四方に取られた窓からは、日の出から日没まで日が射し込み、1日の時間が太陽のうつろいと共に部屋に刻まれていくようである。

(矢板久明・上野武)





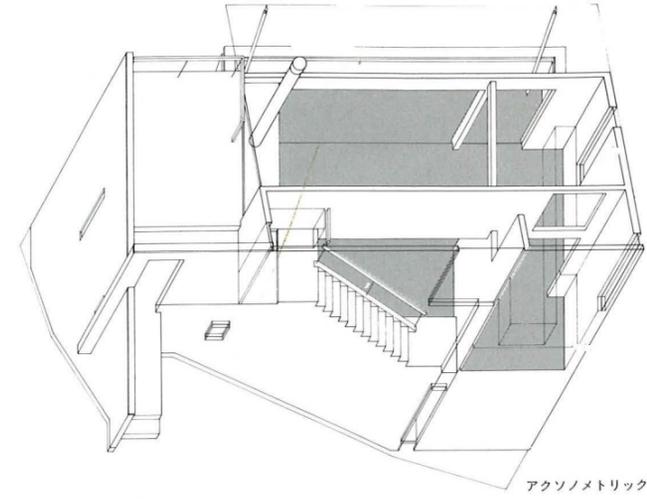


居間よりテラスを見る。

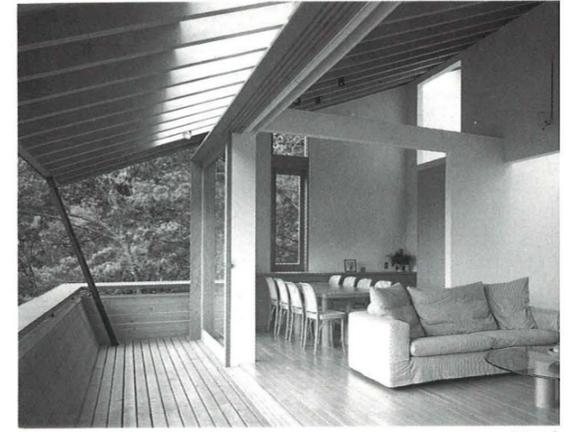
126~127頁 居間。上部の窓から屋上のテラスが見える。



テラス。



アクソノメトリック



テラスよ



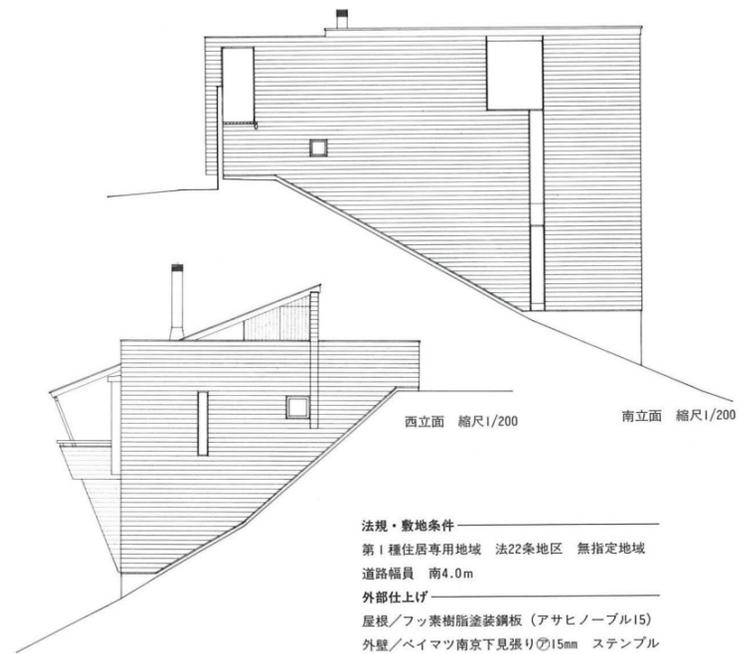
2階より玄関を見返す。



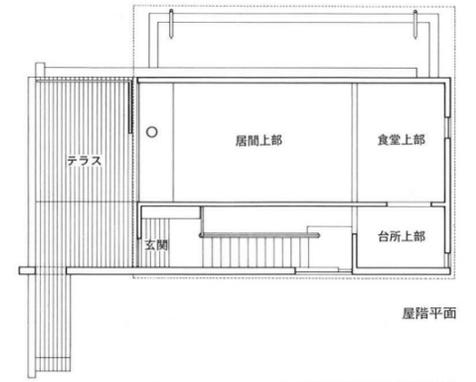
2枚の壁により構成されている。



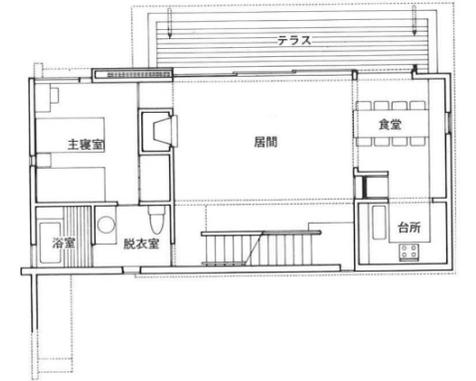
食堂よりライトウェルの中の台所を見る。



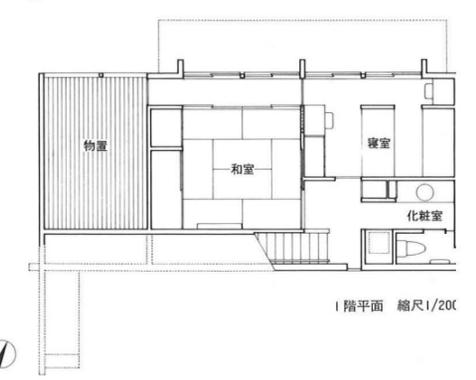
西立面 縮尺1/200 南立面 縮尺1/200



屋階平面



1階平面 縮尺1/200



法規・敷地条件
 第1種住居専用地域 法22条地区 無指定地域
 道路幅員 南4.0m
 外部仕上げ
 屋根/フッ素樹脂塗装鋼板(アサヒノール15)
 外壁/ペイマツ南京下見張りの15mm ステンブルーフ塗
 開口部/木製建具(ペイマツ) ジャロジー
 外構/デッキ:ペイマツ60×90mm ステンブルーフ
 内部仕上げ
 居間・食堂・台所
 床/ペイマツフローリングφ18mm ウレタンク
 リヤ
 壁/プラスターボードAEP モルタルAEP
 天井/垂木:ペイマツ 野地板表し
 主寝室
 床/カーペット敷
 壁・天井/プラスターボードAEP
 寝室
 床/ペイマツフローリング ウレタンク
 リヤ
 壁・天井/プラスターボードAEP
 和室
 床/畳敷
 壁・天井/プラスターボード下地ビニールクロス
 浴室
 床/モルタル金コテ仕上げ ヒノキスノコ敷
 壁/半磁器タイル ヒノキ壁羽目
 天井/ヒノキ壁羽目

■南軽井沢の家

所在地/長野県北佐久郡軽井沢町
 主要用途/別荘
 設計
 矢板久明・上野武
 構造 松本年史
 施工
 丸山工務店 担当 市川邦一 饗場弘
 電気 トキワ防災電設 担当 常田敬市
 木工事 井出建設興業 担当 井出正興 今地博
 設備 塩川水道
 規模
 地上2階 最高の高さ9.1m
 敷地面積 661.81㎡
 建築面積 73.97㎡(建築率11.17% 許容20%)
 延床面積 122.52㎡(容積率18.51% 許容40%)
 1階 50.09㎡ 屋階 3.54㎡
 2階 68.89㎡
 構造
 主体構造 木造
 基礎 鉄筋コンクリート造
 工程
 設計期間 1991年4月~1991年10月
 工事期間 1991年11月~1992年7月

主な使用機器
 給湯機器/ノーリツ
 便器・洗面器・バスタブ等/TOTO
 厨房機器/サンウエーブ リンナイ
 家具/プロスペクト (フレックスフォーム) ア
 イデック アルフレックス 造り
 照明/ヤマギワ 遮断照明 ナシ
 建築金物/ミワ モドリック
 暖炉/中山産業